

第6章 ワーク・ライフ・バランスについて

1. 「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）という言葉の認知
2. 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
3. 調和のとれた生活をするための条件整備

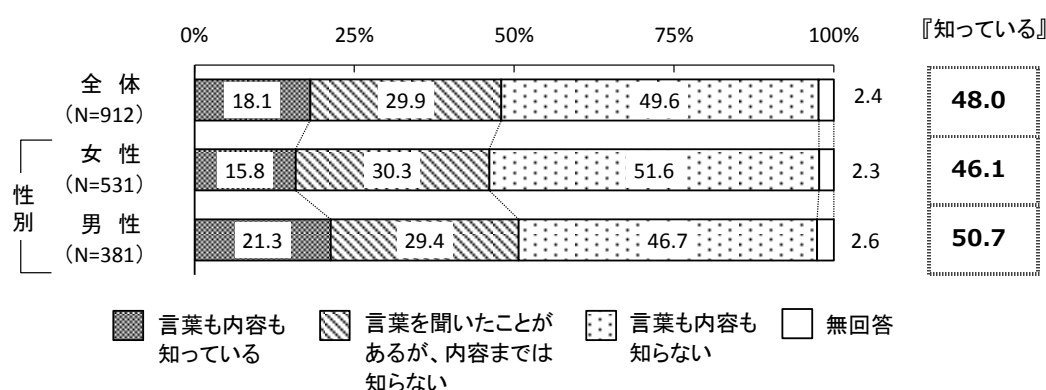
第6章 ワーク・ライフ・バランスについて

1. 「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）という言葉の認知

- 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度は約5割で、男性の方がやや高い。
- 「言葉も内容も知っている」は女性の20代と40代、男性の50代以下で2割を超える。

問 14 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）という言葉を知っていますか。（〇は1つ）

図表6-1 「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）という言葉の認知〔全体、性別〕

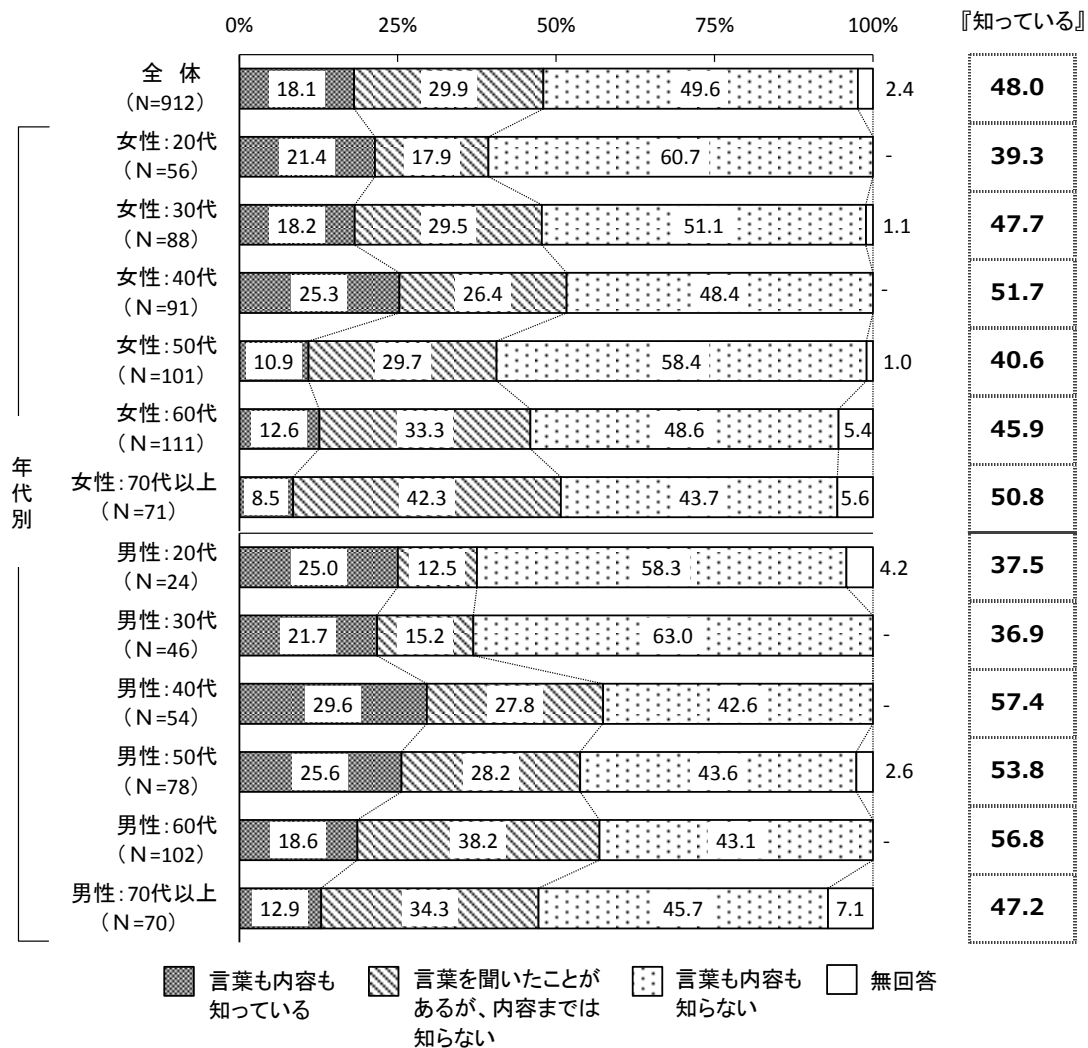


「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っているかたずねたところ、「言葉も内容も知っている」が18.1%、「言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない」が29.9%、「言葉も内容も知らない」が49.6%となっており、言葉の認知については48.0%が『知っている』と回答している。

性別でみると、「言葉も内容も知っている」は女性15.8%、男性21.3%で、男性が女性を5.5ポイント上回り、「言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない」は女性30.3%、男性29.4%で、言葉の認知は女性46.1%、男性50.7%となり、男性の認知度がやや高くなっている。

年代別でみると、言葉の認知が5割を超えているのは女性の40代と70代以上、男性の40代、50代、60代であるが、「言葉も内容も知っている」に限ると女性の20代と40代、男性の20代から50代で2割を超えて高くなっており、特に男性の40代で29.6%と高い。「言葉を聞いたことがあるが、内容までは知らない」をみると、男女とも年齢の高い層で数値が高くなる傾向がみられる。また、女性20代と男性の30代では「言葉も内容も知らない」が6割を超えている。

図表6-2 「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）という言葉の認知〔全体、年代別〕

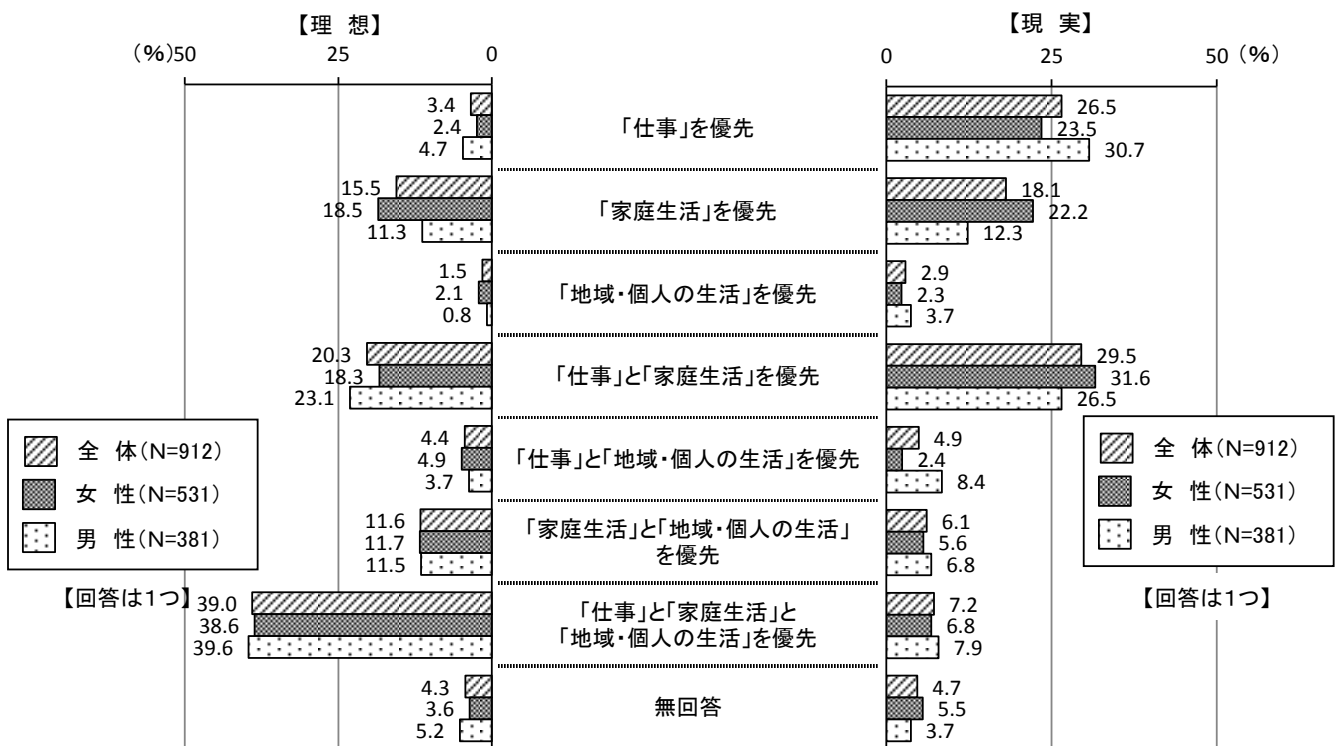


2. 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度

- 理想は「仕事と家庭生活と地域・個人の生活を優先」が第1位。
- 現実には「仕事と家庭生活を優先」「仕事を優先」などが上位で仕事優先がうかがわれる。

問 15 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の優先度について、あなたは次のどれにあてはまりますか。（A）理想と（B）現実のそれぞれについて、最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

図表6－3 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度・理想と現実
[全体、性別]



「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の優先度を、理想と現実それぞれについてたずねた。

まず、理想の優先度としては、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』を優先」が39.0%で最も高く、『仕事』と『家庭生活』を優先」が20.3%、『家庭生活』を優先」が15.5%と続いている。

性別でみると、第1位の『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』を優先」ではほとんど差はないが、『仕事』と『家庭生活』を優先」（女性18.3%、男性23.1%）は男性で、『家庭生活』を優先」（女性18.5%、男性11.3%）は女性でそれぞれやや高くなっている。

年代別でみると、女性の20代と男性の20代、30代、50代は『仕事』と『家庭生活』を優先」が3割前後でやや高くなっている。また、女性の30代と40代、男性の20代は『家庭生活』を優先」が2割を超えている。

現実の優先度については、『仕事』と『家庭生活』を優先」が29.5%で最も高く、次いで『仕事』を優先」が26.5%、『家庭生活』を優先」が18.1%となっている。

性別でみると、『家庭生活』を優先」(女性22.2%、男性12.3%)は女性が男性を9.9ポイント上回り、『仕事』と『家庭生活』を優先」(女性31.6%、男性26.5%)も女性が5.1ポイント高くなっている。一方、『仕事』を優先」(女性23.5%、男性30.7%)は男性が女性を7.2ポイント上回る。

年代別でみると、『仕事』を優先」は男女とも20代で高く、女性の20代で4割弱、男性の20代では6割強に上る。また、男性の30代、40代、50代でも高い。

理想と現実を比較すると、理想の優先度で4割近くと最も高かった『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』を優先」は、現実では7.2%にとどまっている。また、現実では3.4%の『仕事』を優先」は現実では26.5%と大幅に高く、また理想では20.3%の『仕事』と『家庭生活』を優先」は現実では29.5%となっており、理想の優先度に比べて現実の優先度では仕事の優先度が高くなっている。

図表6-4 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度・理想と現実〔全体、年代別〕

(%)

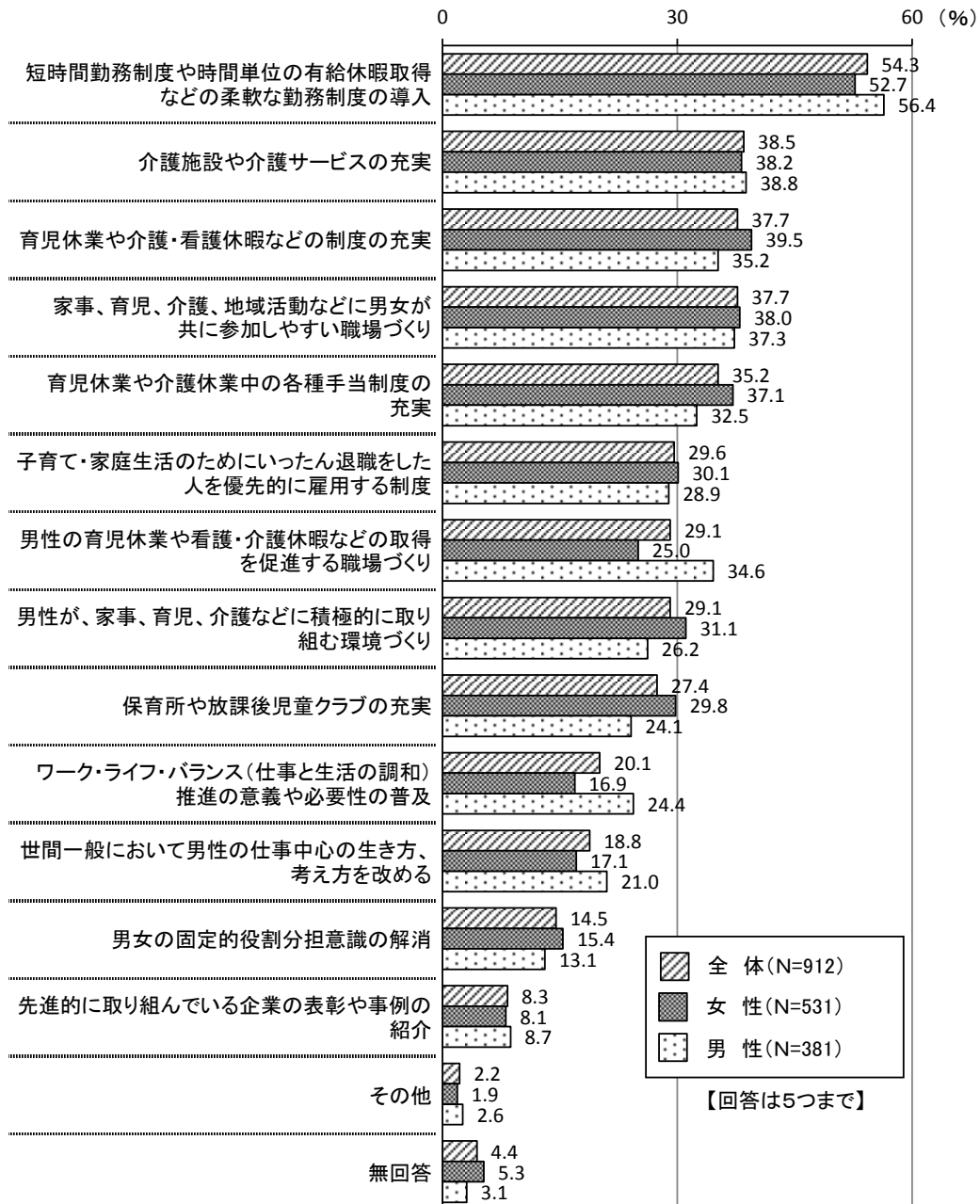
		標本数	(A)理想の生活の優先度								(B)現実の生活の優先度							
			「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	先「仕事」と「家庭生活」を優先	活「仕事」と「地域・個人の生活」を優先	の「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先	無回答	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	先「仕事」と「家庭生活」を優先	活「仕事」と「地域・個人の生活」を優先	の「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先	無回答
全 体		912 100.0	31 3.4	141 15.5	14 1.5	185 20.3	40 4.4	106 11.6	356 39.0	39 4.3	242 26.5	165 18.1	26 2.9	269 29.5	45 4.9	56 6.1	66 7.2	43 4.7
年 代 別	女性:20代	56	-	12.5	-	28.6	7.1	8.9	41.1	1.8	37.5	19.6	5.4	17.9	3.6	8.9	5.4	1.8
	女性:30代	88	1.1	22.7	5.7	19.3	4.5	11.4	35.2	-	25.0	20.5	1.1	35.2	3.4	3.4	9.1	2.3
	女性:40代	91	1.1	25.3	1.1	17.6	3.3	11.0	40.7	-	31.9	19.8	3.3	35.2	1.1	2.2	5.5	1.1
	女性:50代	101	-	14.9	2.0	21.8	6.9	6.9	45.5	2.0	29.7	18.8	-	37.6	1.0	4.0	5.9	3.0
	女性:60代	111	6.3	15.3	1.8	14.4	5.4	18.0	36.0	2.7	16.2	23.4	2.7	34.2	2.7	9.0	5.4	6.3
	女性:70代以上	71	5.6	19.7	-	11.3	2.8	11.3	31.0	18.3	2.8	32.4	1.4	18.3	4.2	8.5	11.3	21.1
	男性:20代	24	-	25.0	-	29.2	4.2	8.3	33.3	-	62.5	4.2	-	25.0	8.3	-	-	-
	男性:30代	46	4.3	10.9	-	30.4	2.2	6.5	41.3	4.3	45.7	6.5	-	28.3	4.3	4.3	8.7	2.2
	男性:40代	54	3.7	14.8	-	24.1	3.7	9.3	42.6	1.9	38.9	7.4	-	25.9	9.3	5.6	13.0	-
	男性:50代	78	2.6	6.4	1.3	28.2	2.6	11.5	44.9	2.6	34.6	9.0	5.1	33.3	6.4	3.8	6.4	1.3
	男性:60代	102	4.9	11.8	1.0	20.6	2.0	13.7	42.2	3.9	18.6	19.6	4.9	30.4	9.8	8.8	5.9	2.0
	男性:70代以上	70	8.6	10.0	1.4	15.7	8.6	14.3	28.6	12.9	18.6	15.7	7.1	15.7	11.4	11.4	8.6	11.4
無回答		20	5.0	10.0	5.0	10.0	-	15.0	45.0	10.0	20.0	20.0	5.0	30.0	-	5.0	10.0	10.0

3. 調和のとれた生活をするための条件整備

●調和のとれた生活をするためには「短時間勤務制度や時間単位の有給休暇取得など柔軟な勤務制度の導入」が5割を超えて最も高い。

問 16 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の調和のとれた生活をするためには、どのような条件整備が必要だと思いますか。
（○は5つまで）

図表 6－5 調和のとれた生活をするための条件整備 [全体、性別]



「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の調和のとれた生活をするために、どのような条件整備が必要だと思うかについては、「短時間勤務制度や時間単位の有給休暇取得などの柔軟な勤務制度の導入」が 54.3%で最も高く、次いで「介護施設や介護サービスの充実」が 38.5%で第2位、「育児休業や介護・看護休暇などの制度の充実」「家事、育児、介護、地域活動などに男女が共に参加しやすい職場づくり」が同率の 37.7%で第3位、「育児休業や介護休業中の各種手当制度の充実」が 35.2%で第5位となっている。

性別でみると、「育児休業や介護・看護休暇などの制度の充実」（女性 39.5%、男性 35.2%）は女性が男性を 4.3 ポイント上回り、女性の第2位となっている。「育児休業や介護休業中の各種手当制度の充実」（女性 37.1%、男性 32.5%）、「男性が、家事、育児、介護などに積極的に取り組む環境づくり」（女性 31.1%、男性 26.2%）、「保育所や放課後児童クラブの充実」（女性 29.8%、男性 24.1%）も女性が男性を 5 ポイント程度上回っている。また、「男性の育児休業や看護・介護休暇などの取得を促進する職場づくり」（女性 25.0%、男性 34.6%）は男性が女性を 9.6 ポイント上回り、また順位も全体では第7位だが、男性では第5位となっている。また、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進の意義や必要性の普及」（女性 16.9%、男性 24.4%）、「世間一般において男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」（女性 17.1%、男性 21.0%）も男性で高くなっている。

年代別でみると、「短時間勤務制度や時間単位の有給休暇取得などの柔軟な勤務制度の導入」は女性の20代と30代、男性の20代から50代で6割を超えて高く、年齢が低い層での回答率が高い傾向がみられる。「育児休業や介護休業中の各種手当制度の充実」は女性の20代と30代、男性の30代という子育て中の人が多いと思われる年代で高い。一方、「育児休業や介護・看護休暇などの制度の充実」は女性の50代と男性の60代でやや高くなっている。「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進の意義や必要性の普及」は男性の40代、50代でやや高い。また、「介護施設や介護サービスの充実」は女性の60代と70代以上、男性の70代で5割を超えて高くなっている。

既未婚別でみると、女性の未婚では「育児休業や介護・看護休暇などの制度の充実」「育児休業や介護休業中の各種手当制度の充実」「男性の育児休業や看護・介護休暇などの取得を促進する職場づくり」などが既婚に比べて高くなっている。「育児休業や介護休業中の各種手当制度の充実」「男性の育児休業や看護・介護休暇などの取得を促進する職場づくり」は男性の未婚でも高い。一方、女性の既婚では「男性が、家事、育児、介護などに積極的に取り組む環境づくり」「介護施設や介護サービスの充実」「子育て・家庭生活のためにいったん退職をした人を優先的に雇用する制度」が高くなっている。

図表6-6 調和のとれた生活をするための条件整備〔全体、年代別、既未婚別〕

		標 本 数	(%)														無 回 答																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			有給休暇の取得率 短時間勤務制度の導入	短時間勤務制度や時間単位の柔軟な勤務制度の導入	育児休業や介護・看護休暇などの充実	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て		育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て	育児休業や介護休業中の各種手当て

第7章 「ハートピアぶぜん」について

1. 「ハートピアぶぜん」の認知
2. 「ハートピアぶぜん」の利用目的
3. 「ハートピアぶぜん」に期待すること

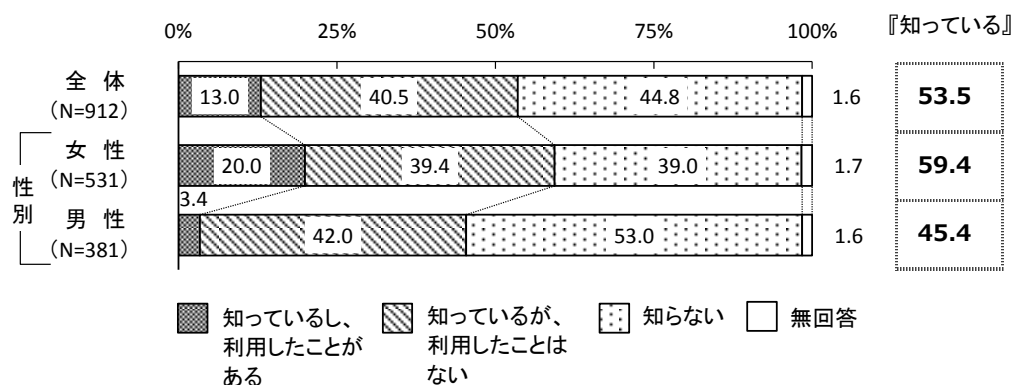
第7章 「ハートピアぶぜん」について

1. 「ハートピアぶぜん」の認知

- 「ハートピアぶぜん」の認知度は女性で約6割、男性で4割半ば。そのうち「利用したことがある」のは女性で20.0%、男性で3.4%である。
- 女性の60代の利用が3割を超えて最も多い。

問 17 あなたは豊前市の男女共同参画推進の拠点である「ハートピアぶぜん」をご存じですか。(〇は1つ)

図表 7-1 「ハートピアぶぜん」の認知 [全体、性別]

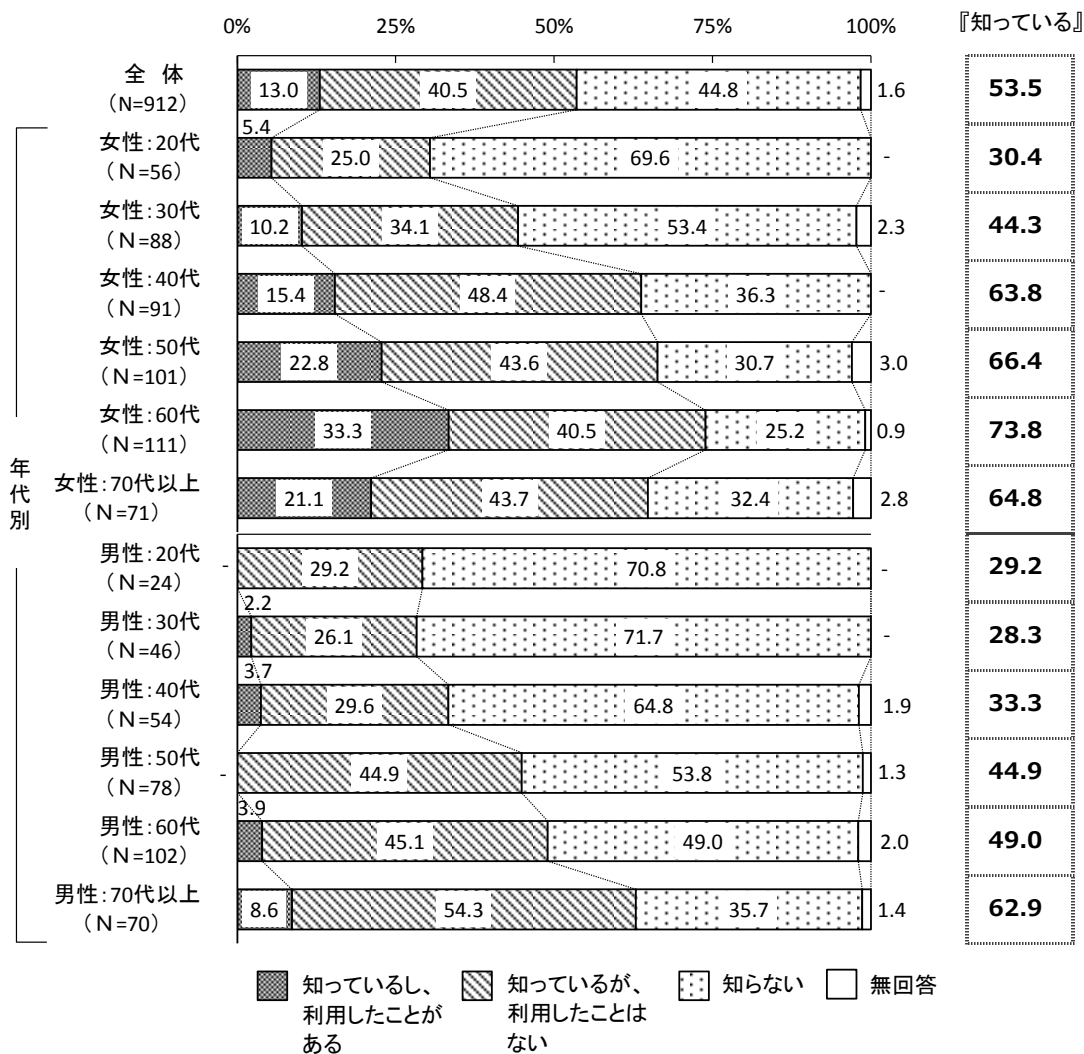


豊前市の男女共同参画の拠点である「ハートピアぶぜん」について知っているかどうかたずねたところ、「知っているし、利用したことがある」が13.0%、「知っているが、利用したことはない」が40.5%で、53.5%が『知っている』と回答している。「知らない」は44.8%で、「ハートピアぶぜん」を認知していない人が4割を超えている。

性別でみると、「知っているし、利用したことがある」は女性が20.0%なのに対し男性は3.4%となっており、女性の利用率が大幅に高くなっている。「知っているが、利用したことはない」(女性39.4%、男性42.0%)と合わせると、『知っている』は女性59.4%、男性45.4%で、女性が男性を14ポイント上回っている。

年代別でみると、『知っている』は女性の60代で73.8%と7割を超えて最も高くなっている。また、女性の40代と50代、70代以上の認知度も6割を超える。男性では70代以上で62.9%、60代で49.0%の認知度である。女性の20代、男性の20代と30代、40代では認知度が3割前後と低い。また、「知っているし、利用したことがある」は女性の50代、60代、70代以上で2割から3割と高い。特に、女性の60代では33.3%と約3分の1の人が利用した経験があると回答している。一方、男性は利用率が最も高い70代以上でも1割に満たない。

図表7-2 「ハートピアぶぜん」の認知〔全体、年代別〕

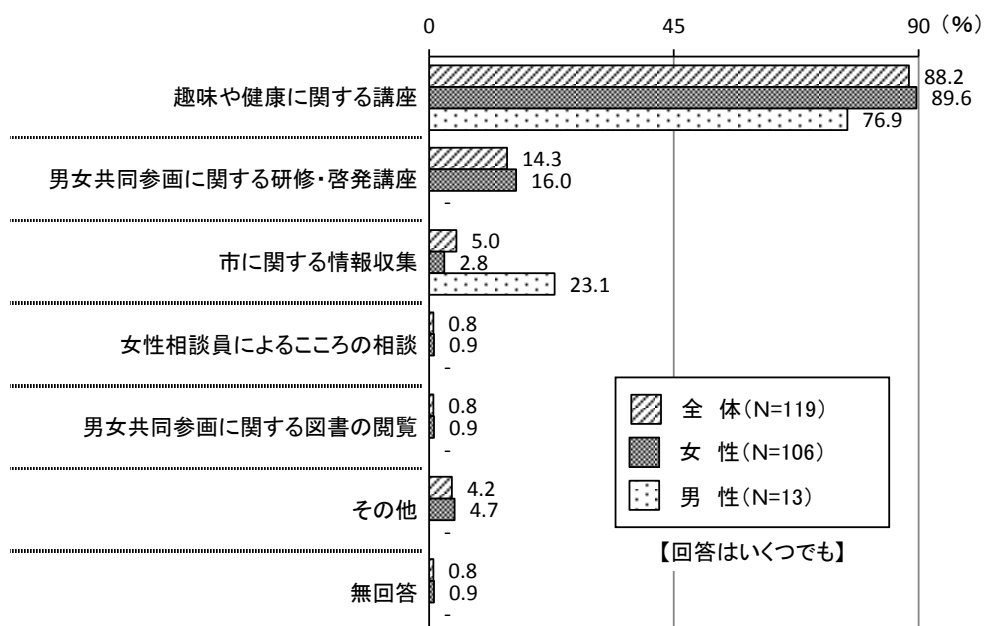


2. 「ハートピアぶぜん」の利用目的

- 「ハートピアぶぜん」の利用目的は「趣味や健康に関する講座」が約9割。

問17SQ1（問17で「1 知っているし、利用したことがある」と答えた方に）
「ハートピアぶぜん」をどういったことで利用しましたか。（〇はいくつでも）

図表7-3 「ハートピアぶぜん」の利用目的〔全体、性別〕



「ハートピアぶぜん」を利用したことがあると回答した人に利用した目的をたずねたところ、「趣味や健康に関する講座」が88.2%、「男女共同参画に関する研修・啓発講座」が14.3%で、講座への参加のために利用したという人が多い。

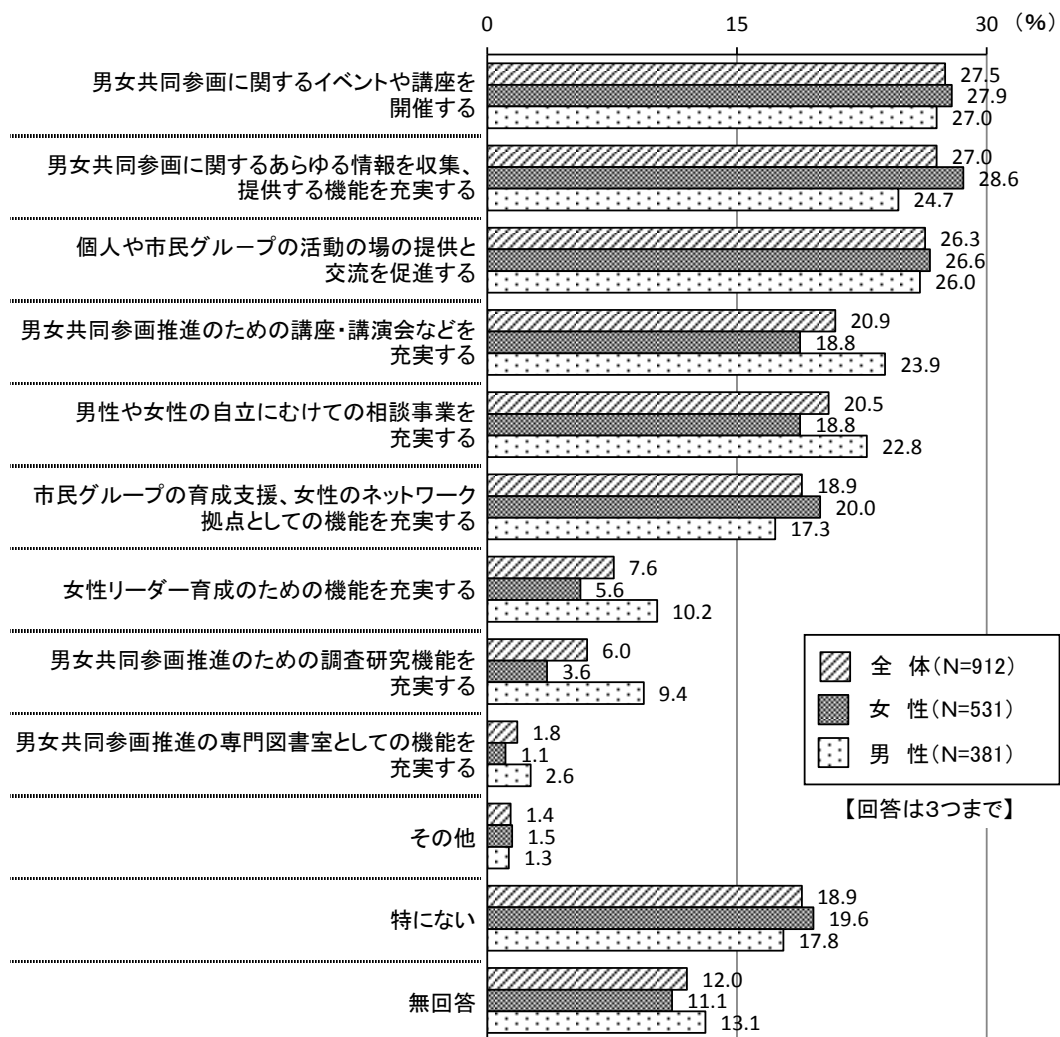
性別でみると、女性は「趣味や健康に関する講座」が89.6%、「男女共同参画に関する研修・啓発講座」が16.0%とやはり講座での利用が中心となっている。男性も「趣味や健康に関する講座」は76.9%と高いが、「男女共同参画に関する研修・啓発講座」での利用はなく、「市に関する情報収集」が23.1%となっている。

3. 「ハートピアぶぜん」に期待すること

- 「ハートピアぶぜん」に期待することは「男女共同参画に関するイベントや講座の開催」「男女共同参画に関する情報収集、提供」「個人・市民グループの活動の場の提供と交流」。

問 18 あなたが今後「ハートピアぶぜん」に期待することはどんなことですか。
(〇は3つまで)

図表 7-4 「ハートピアぶぜん」に期待すること〔全体、性別〕



「ハートピアぶぜん」に期待することとしては、「男女共同参画に関するイベントや講座を開催する」が 27.5%で最も高く、「男女共同参画に関するあらゆる情報を収集、提供する機能を充実する」が 27.0%で第2位、「個人や市民グループの活動の場の提供と交流を促進する」が 26.3%で第3位となっている。

性別でみると、それほど目立った差はみられないものの、「男女共同参画推進のための講座・講演会などを充実する」(女性 18.8%、男性 23.9%)、「男女共同参画推進のための調査研究機能を充実する」(女性 3.6%、男性 9.4%)は男性の方が5ポイント程度高くなっている。

年代別でみると、「男女共同参画に関するイベントや講座を開催する」は女性の30代と60代、男性の60代でやや高い。また、男女とも60代は「男女共同参画推進のための講座・講演会などを充実する」も他の年代に比べて高い。「男女共同参画に関するあらゆる情報を収集、提供する機能を充実する」は女性の20代、30代で高い。「個人や市民グループの活動の場の提供と交流を促進する」は女性の50代と男性の60代で高くなっている。「男性や女性の自立に向けての相談事業を充実する」は女性の40代、男性の30代と50代で3割前後に上っている。

図表7-5 「ハートピアぶぜん」に期待すること〔全体、性別〕

(%)														
		標本数	男女共同参画推進のための講座・講演会などを実施する	男女共同参画に関するイベントや講座を開催する	男女共同参画に関するあらゆる情報を収集、提供する機能を充実する	男女共同参画推進のための調査研究機能を実践する	市民グループの育成支援、女性のネットワーク拠点としての機能を充実する	女性リーダー育成のための機能を充実する	個人や市民グループの活動の場の提供と交流を促進する	男女共同参画推進の専門的機能の充実を図る	男性や女性の自立にむけての相談事業を充実する	その他	特にない	無回答
全 体		912 100.0	191 20.9	251 27.5	246 27.0	55 6.0	172 18.9	69 7.6	240 26.3	16 1.8	187 20.5	13 1.4	172 18.9	109 12.0
年 代 別	女性:20代	56	5.4	19.6	33.9	3.6	25.0	7.1	26.8	1.8	19.6	－	26.8	5.4
	女性:30代	88	11.4	33.0	34.1	1.1	14.8	5.7	18.2	1.1	17.0	3.4	22.7	10.2
	女性:40代	91	17.6	28.6	28.6	3.3	15.4	7.7	18.7	1.1	27.5	1.1	22.0	6.6
	女性:50代	101	25.7	27.7	29.7	5.9	24.8	4.0	38.6	1.0	19.8	2.0	11.9	11.9
	女性:60代	111	27.0	31.5	27.0	－	19.8	5.4	31.5	0.9	9.9	1.8	20.7	8.1
	女性:70代以上	71	19.7	23.9	21.1	8.5	22.5	5.6	23.9	1.4	21.1	－	18.3	19.7
	男性:20代	24	20.8	12.5	20.8	12.5	12.5	4.2	12.5	4.2	20.8	－	29.2	12.5
	男性:30代	46	13.0	21.7	30.4	13.0	8.7	13.0	23.9	2.2	28.3	4.3	28.3	4.3
	男性:40代	54	20.4	24.1	22.2	5.6	25.9	13.0	13.0	1.9	18.5	1.9	22.2	14.8
	男性:50代	78	26.9	24.4	12.8	11.5	20.5	10.3	24.4	2.6	32.1	1.3	20.5	9.0
	男性:60代	102	29.4	36.3	28.4	8.8	19.6	8.8	36.3	2.9	15.7	－	11.8	14.7
	男性:70代以上	70	22.9	30.0	30.0	7.1	12.9	10.0	28.6	1.4	20.0	－	11.4	20.0
	無回答	20	15.0	10.0	25.0	10.0	10.0	5.0	20.0	5.0	35.0	5.0	5.0	35.0

第8章 今後の男女共同参画に関する 施策について

1. 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れること

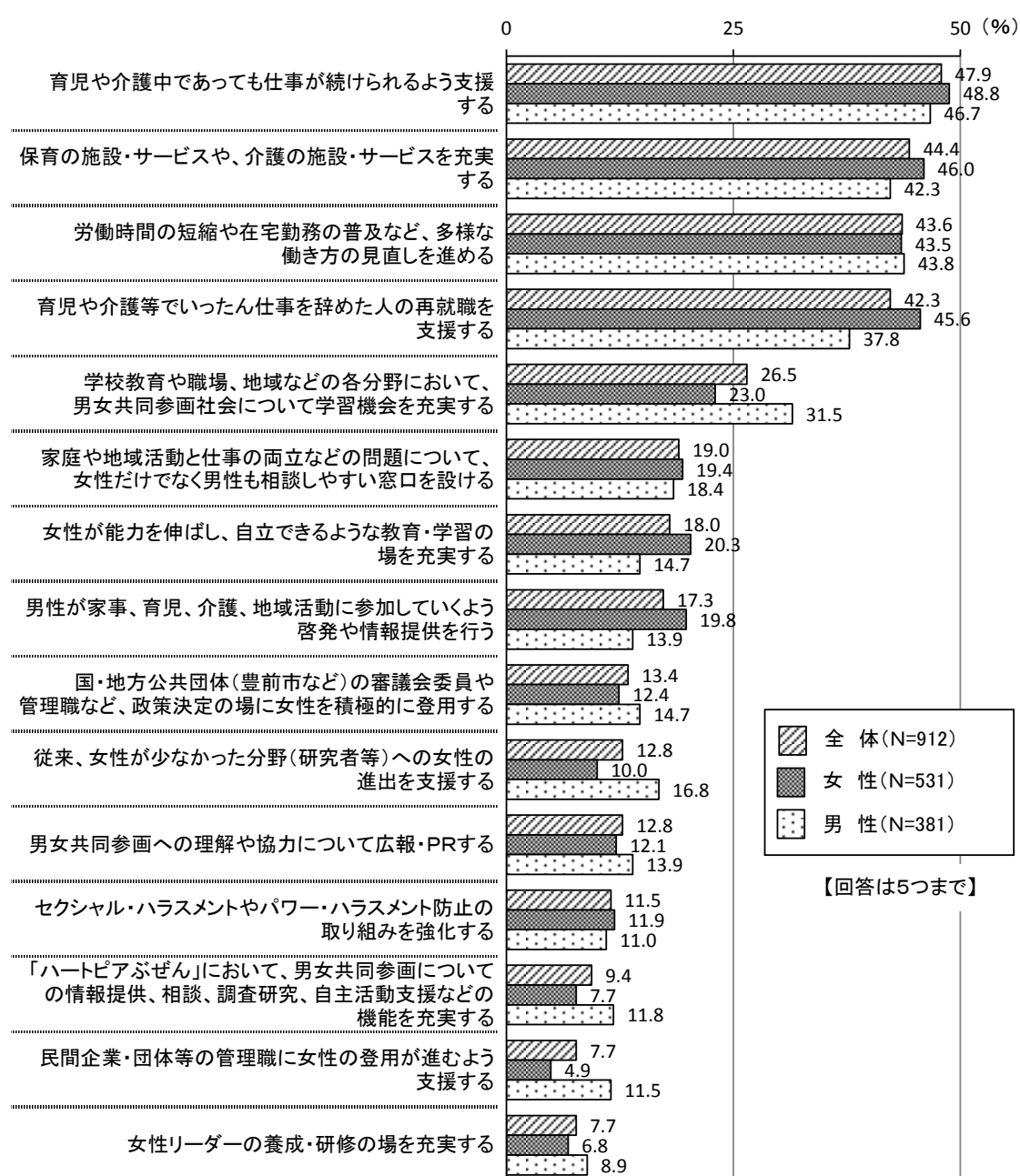
第8章 今後の男女共同参画に関する施策について

1. 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れること

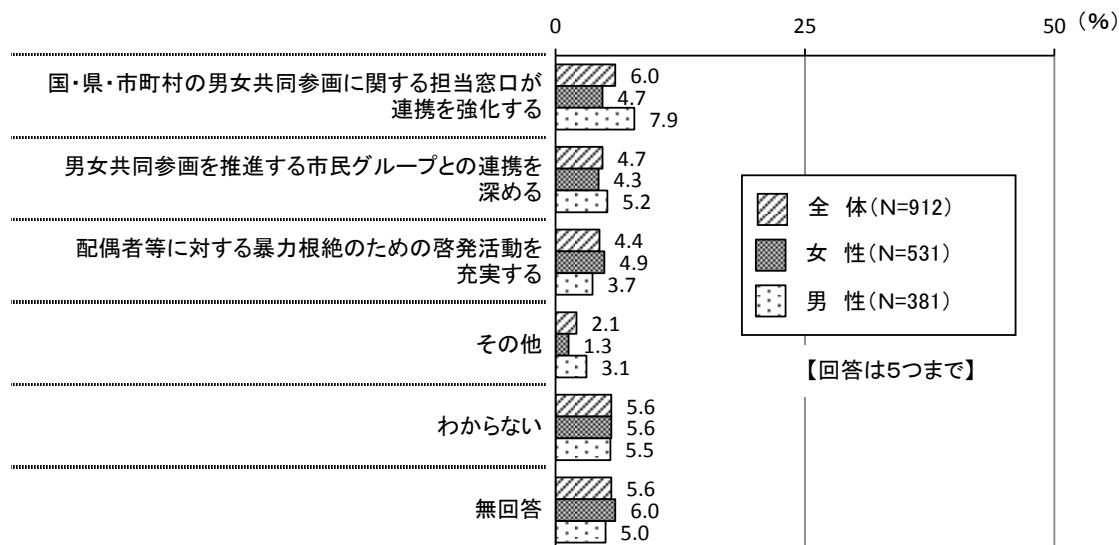
- 「男女共同参画社会」を実現するために「育児・介護中であっても仕事が続けられるよう支援」「保育・介護の施設・サービスの充実」「多様な働き方の見直し」「再就職支援」。

問 19 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は5つまで)

図表 8-1 (1) 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れること [全体、性別]



図表 8－1（2） 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力をいれること〔全体、性別〕



「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れるべきこととしては、「育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が 47.9%で最も高く、次いで「保育の施設・サービスや、介護の施設・サービスを充実する」(44.4%)、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、多様な働き方の見直しを進める」(43.6%)、「育児や介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(42.3%) が4割台で続いている。

性別でみると、第4位の「育児や介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」は女性 45.6%に対して男性 37.8%で、女性の方が 7.8 ポイント高くなっている。また、「女性が能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」(女性 20.3%、男性 14.7%)、「男性が家事、育児、介護、地域活動に参加していくよう啓発や情報提供を行う」(女性 19.8%、男性 13.9%) も女性の方が約 6 ポイント高い。一方、「学校教育や職場、地域などの各分野において、男女共同参画社会について学習機会を充実する」(女性 23.0%、男性 31.5%)、「従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する」(女性 10.0%、男性 16.8%) は男性の方が高くなっている。

年代別でみると、「育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」は女性の 20 代と男性の 40 代で特に高い。「保育の施設・サービスや、介護の施設・サービスを充実する」は女性の 50 代と 60 代、男性の 60 代で 5 割を超えている。「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、多様な働き方の見直しを進める」は女性の 20 代と 30 代、男性の 20 代と 40 代でそれぞれ高く、特に 20 代では男女とも約 3 分の 2 の人が回答している。また、全体では約 1 割とそれほど高くない「セクシャル・ハラスメントやパワー・ハラスメント防止の取り組みを強化する」は女性の 20 代で 26.8%と目立って高くなっている。

図表8-2 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力をいれること〔全体、年代別〕

(%)

		標本数	充実する	学校教育や職場、地域などの各分野において学習機会をい	女性・学習の場を充実する	育・学	女性能力を伸ばし、自立できるような教育	従来、女性の進出を支援する分野（研究者等）	様々な働き方の見直しを進める	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、多様な働き方の見直しを進める	育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	再就職や介護等といった仕事を辞めた人の再就職を支援する	男性が家事、育児、介護、地域活動に参加していくよう啓発や情報提供を行う	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、女性だけでなく男性も相談しやすい窓口を設ける	子育ての施設・サービスや、介護の施設・サービスを実施する	積極的に登用する	委員や管理職など、政策決定の場に女性を登用する	国・地方公共団体（豊前市など）の審議会	民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
全 体		912 100.0	242 26.5	164 18.0	117 12.8	398 43.6	437 47.9	386 42.3	158 17.3	173 19.0	405 44.4	122 13.4	70 7.7						
年 代 別	女性:20代	56	16.1	19.6	16.1	66.1	55.4	42.9	19.6	10.7	46.4	12.5	3.6						
	女性:30代	88	18.2	26.1	11.4	59.1	48.9	50.0	20.5	17.0	48.9	13.6	9.1						
	女性:40代	91	22.0	19.8	13.2	42.9	52.7	35.2	16.5	16.5	41.8	12.1	3.3						
	女性:50代	101	24.8	24.8	9.9	42.6	52.5	50.5	23.8	22.8	52.5	14.9	7.9						
	女性:60代	111	28.8	17.1	8.1	36.0	45.9	52.3	20.7	19.8	51.4	7.2	3.6						
	女性:70代以上	71	28.2	15.5	4.2	28.2	45.1	46.5	18.3	31.0	36.6	18.3	1.4						
	男性:20代	24	20.8	20.8	25.0	66.7	41.7	33.3	20.8	16.7	37.5	4.2	16.7						
	男性:30代	46	21.7	8.7	15.2	47.8	50.0	37.0	17.4	15.2	37.0	8.7	10.9						
	男性:40代	54	35.2	14.8	14.8	59.3	59.3	42.6	14.8	13.0	42.6	9.3	7.4						
	男性:50代	78	32.1	11.5	19.2	50.0	47.4	37.2	9.0	26.9	43.6	12.8	14.1						
	男性:60代	102	35.3	14.7	19.6	42.2	52.0	42.2	11.8	20.6	51.0	22.5	13.7						
	男性:70代以上	70	35.7	20.0	11.4	21.4	32.9	34.3	18.6	14.3	37.1	18.6	8.6						
無回答		20	-	10.0	-	-	5.0	-	5.0	-	5.0	-	-						
		標本数	充実する	「ハートピア」の活動支援などの機能を実践する	配偶者等に対する暴力根絶のための啓発活動	セクシャル・ハラスメントの防止の取り組みを強化する	女性リーダーの養成・研修の場を充実する	男女共同参画を推進する市民グループとの連携を深める	国・県・市町村の男女共同参画に関する担当窓口が連携を強化する	男女共同参画への理解や協力について広報・PRする	その他	わからない	無回答						
全 体		912 100.0	86 9.4	40 4.4	105 11.5	70 7.7	43 4.7	55 6.0	117 12.8	19 2.1	51 5.6	51 5.6							
年 代 別	女性:20代	56	3.6	8.9	26.8	7.1	3.6	1.8	5.4	-	3.6	5.4							
	女性:30代	88	1.1	4.5	11.4	8.0	1.1	2.3	8.0	2.3	5.7	-							
	女性:40代	91	5.5	4.4	17.6	6.6	4.4	7.7	7.7	3.3	7.7	2.2							
	女性:50代	101	10.9	4.0	12.9	7.9	5.0	3.0	17.8	1.0	3.0	1.0							
	女性:60代	111	9.9	3.6	6.3	6.3	7.2	6.3	13.5	0.9	8.1	3.6							
	女性:70代以上	71	15.5	7.0	2.8	4.2	4.2	7.0	19.7	-	4.2	15.5							
	男性:20代	24	8.3	-	8.3	8.3	-	-	8.3	4.2	8.3	-							
	男性:30代	46	6.5	2.2	15.2	8.7	6.5	13.0	6.5	8.7	13.0	4.3							
	男性:40代	54	1.9	5.6	11.1	5.6	3.7	7.4	13.0	3.7	3.7	-							
	男性:50代	78	11.5	6.4	14.1	14.1	5.1	9.0	15.4	3.8	3.8	1.3							
	男性:60代	102	15.7	2.9	9.8	8.8	5.9	10.8	19.6	1.0	2.0	1.0							
	男性:70代以上	70	20.0	2.9	8.6	7.1	7.1	2.9	12.9	1.4	7.1	14.3							
無回答		20	-	-	-	5.0	-	-	-	-	10.0	80.0							

第9章 調査結果のまとめと今後の課題

第9章 調査結果のまとめと今後の課題

豊前市では、平成16年3月に「男女がともに輝くまち ぶぜん」を基本理念に掲げ、豊前市男女共同参画行動計画を策定、平成23年3月には社会情勢の変化に応じ施策の見直しを行った豊前市男女共同参画後期行動計画を策定した。このたび、豊前市の男女共同参画に関する施策のさらなる推進に向け、市民の意見を今後の施策に反映させることを目的とした「男女共同参画社会づくりに向けての市民意識調査」を実施した。豊前市の男女共同参画の現状と課題を把握し、施策の効果的かつ総合的な推進を図るために、以下、調査結果からみえてきた豊前市の現状と課題についてみていく。

第1章 男女共同参画社会づくりについて

「男女共同参画社会」という言葉については76.1%の回答者が認知しており、質問の仕方は異なるが、内閣府が平成24年10月に実施した「男女共同参画に関する世論調査」（以下、全国調査という）での認知度（63.7%）に比べて10ポイント以上高い。しかし、「言葉も内容も知っている」とする人は全体の約3分の1に留まっている。年代別でみると、男女ともに「言葉も内容も知っている」は20代で最も高くなっている。この年代は学習指導要領の改訂により、学校教育において男女共同参画に関する教育が推進されるようになった年代であり、その成果が表れた結果と考えられる。引き続き学校での男女平等教育を推進するとともに、男女共同参画への市民の理解を深めていくことが求められる。

男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこととしては、「企業が多様な働き方を認め、家事、子育て、介護、地域活動を担うことができるように環境整備をすること」が最も高く6割以上の人が回答している。「多様な働き方」については第8章の行政への要望でも上位に挙がっており、市内外の企業等と協力をしながら、働き方の見直しを推進することが望まれる。また、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」はともに女性の回答率が男性より高く、女性としては家事等の役割分担をしたいと思っているが、パートナーや周囲の人の理解が得られずにいる状況がうかがえる。男女共同参画や家庭での役割分担について、幅広く啓発していくことが必要である。

第2章 男女の地位・役割について

「男は仕事、女は家庭」という考え方については、反対派が約6割に上り、賛成派を20ポイント上回った。前回調査から反対派が15ポイントほど増加し、また福岡県調査や全国調査と比較しても反対派の割合が高く、豊前市においては「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識がかなり弱まっていると考えられる。また、一般的に男性は女性に比べて賛成派の割合が高くなる傾向がみられるが、今回調査では性別による意識差がほとんどみられない。年代別でみると、反対派の割合は女性では年齢が高い層で、男性は年齢が低い層で高くなる傾向がみられ、特に20代での差が大きい（女性51.8%、男性70.8%）。20代男性のサンプル数が少ないため断定的なことはいえないものの、上述したような学校教育の影響に加え、長引く景気の低迷や若年層の就職難の厳しさを、若年男性がより強く感じているということがあるのかもしれない。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識が弱まっている一方で、男女の地位について不平等感はいまだ解消されていない。8項目中すべての項目で「平等」の割合が全国調査の結果を下回っている。また、前回調査と比較すると、「家庭生活」で男性優遇とする人が減少し、「学校教育」「社会通念・慣習・しきたりなど」で大きな変化がみられなかった以外は、前回調査よりも男性優遇とする人の割合が増加している。また、「家庭生活」は他の項目に比べ女性優遇の割合がやや高いが、既未婚別でみると男女とも既婚者では男性優遇の割合が高くなり、特に女性で不平等感が強い。

固定的な性別役割分担意識が薄らいだことにより、現状への見方がより厳しくなったということも考えられるものの、性別役割分担意識においてそれほど差がみられなかった全国調査と福岡県調査を比べても全国調査の平等感の方が高いことから、やはり豊前市においても市民が何かしらの不平等を感じるような実情があると考えの方が妥当であろう。不平等感の解消に向け、さらなる取り組みが望まれる。

特に豊前市では全国調査や福岡県調査に比べて「地域活動・社会活動の場」での不平等感が高い。後述するように、地域活動の場において役員や仕切り役は男性、雑用は女性といった性別役割分業が根強く残っており、そのことが不平等感につながっているものと考えられ、地域における男女共同参画の推進が大きな課題といえる。

女性が職業をもつことについては、「ずっと職業を持っている方がよい」が前回調査より10ポイント以上増加している。また、「結婚するまで職業を持ち、後は持たない方がよい」など専業主婦を志向する項目は合計で約3%にとどまる一方、福岡県調査や全国調査に比べて「子どもができたなら職業を中断し、子どもが大きくなったら再び持つ方がよい」というM字型就労コースを支持する割合が高くなっている。豊前市においては女性が就業することに対しては非常に肯定的であるものの、「子どもが小さいうちは母親は家庭で」という意識が根強いようである。

第3章 家庭生活について

家庭での役割分担（現在配偶者・パートナーがいる人は現状、独身の人は配偶者・パートナーがいたらどうしたいかについて回答）をみると、「生活費を稼ぐ」のは夫、「炊事・掃除・洗濯などの家事」や「家計支出の管理」は妻という性別役割分担が顕著であり、既婚者のみにしてみるとさらにその傾向が強まる。他の項目では上記3項目に比べると夫婦が同程度に分担しているという回答が高くはなるが、「育児・子どものしつけ」「貯蓄・投資などの生活設計」「親の介護」は妻中心、「土地・家屋・その他高額商品の購入」「町内会・自治会等への会合への参加」は夫中心という傾向がみられる。第2章でみたように、豊前市においては「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識には否定的であったが、実際の家庭生活では依然として性別による役割分担が残っていた。また、既婚女性の家庭生活についての不平等感の高さも、家庭内での役割分担の偏りに起因する面も大きいと考えられるため、意識の変化を行動の変化にどうつなげていくかが今後の課題となりそうだ。

結婚についての考え方では、「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「結婚という形式にとらわれず『パートナーと暮らす』という生き方があってもよい」と考える人が6割近くおり、男女とも20代、30代や未婚者では7割から8割に上る。「結婚しても、子どもを持っても持たなくてもどちらでもよい」は賛成派と反対派の差が小さいが、男女とも未婚者や年齢の低い層では賛成派の割合が高くなる。「結婚しないで『子どもを産み育てる』

という生き方があってもよい」も、全体では反対派の割合が高いが未婚者では逆の結果となっている。全体的な傾向としては、結婚については「従来の結婚」にとらわれなくていいという意識が広まりつつあるが、子どもをもつことと結婚とは結びついているべきであると考える人が多いことがうかがえる。しかし、未婚者や年齢の低い層では子どもと結婚を結びつける意識も弱まる傾向がみられる。豊前市においては少子化対策は重要な課題であるが、意識やライフコースの多様化を十分に尊重しながら施策の推進にあたることを期待したい。前述の家庭内の役割分担については、未婚者では両方同じ程度に分担したいとする割合が高くなる傾向がみられる。性別に関わらず、家事や育児と仕事との両立をしやすい環境を整えていくことが、少子化対策においても鍵となるのではないだろうか。

第4章 地域活動について

地域活動での役割分担について、現在住んでいる地域の現状をたずねた質問では、企画などの決定や活動の取り仕切り、地域の役員は男性、お茶くみや片づけなどの雑用は女性となっているとする割合が高く、地域活動の場で「男性が主、女性が従」という性別役割分担が行われていることがうかがえる。

しかし、地域での役割分担を今後どうするべきかについては、性別役割分担があると回答した人ではほとんどの項目で「改善すべき」が「現状のままでよい」を上回っている。特に、「女性が発言しにくい雰囲気がある」については「そうなっている」とする割合は比較的低いが、そのうち「改善すべき」と回答した人が7割台半ばに上っており、女性が発言しにくい状況が問題視されていることが分かる。第2章でみたように、豊前市では地域活動における不平等感が強い。従来の役割分担や慣習を見直し、性別に関わらず地域活動を担っていけるような環境を整えていくことが、今後の地域づくりにおいても重要である。

地域の役職に（女性は自分が、男性は妻や身近な女性が）推薦された場合に引き受ける（引き受けることをすすめる）かどうかについては、女性の方が引き受けることに消極的であり、また前回調査からもほとんど変化がみられない。断る理由としては「役職につく知識や経験がないから」が最も高く、特に女性で6割を超えている。また、第2位の「家事・育児や介護に支障が出るから」は女性の30代と50代、男性の30代と40代など、現在育児や介護中の人が多いと思われる年代で高い。地域での意思決定過程への女性の参画を進めるためには、いきなり女性をリーダー役に抜擢するのではなく経験を積む機会を設けるとともに、活動における業務を分担したり、育児中や介護中の人でもなるべく負担にならないよう活動内容や活動時間を工夫したりしていくことも必要だろう。

第5章 暴力・セクハラについて

暴力の認識をたずねた結果としては、「骨折させる」「打ち身や切り傷などのけがをさせる」「足でけったり平手で打ったりする」といった身体的暴力は「どんな場合でも暴力にあたると思う」とする人が8割前後に上っている。一方、「避妊に協力しない」「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」「何を言っても無視し続ける」「交友関係や電話・メール等を細かく監視する」「大声で怒鳴る」などは4割台から5割台にとどまっている。ドメスティック・バイオレンス（以下、DVとする）は受けている本人がDVだと気づかない場合も多く、相談や発見の遅

れにつながっている。性的暴力や精神的暴力も暴力であるという認識をさらに高めていく必要がある。また、「足でけったり、平手で打ったりする」「大声でどなる」「交友関係や電話・メール等を細かく監視する」「子どもや他人の前で侮辱したり、馬鹿にしたりする」「避妊に協力しない」は「どんな場合でも暴力にあたると思う」とする割合が女性よりも男性で低くなっている。異性愛のカップルが多数を占める状況においては、男女の暴力についての認識の差がDVを生じさせやすくすることも考えられるため、男性に対しても積極的に啓発を実施するとともに、中高生等を対象とした予防教育にも力を入れたい。

ここ3年ぐらいの間に配偶者やパートナー、恋人から暴力を受けた経験がある人は約4分の1であった。年代別でみると女性の40代で約4割が「受けたことがある」と回答しており、目立って高くなっている。暴力の内容別で年代別でみると、女性の40代と50代では「何を言っても無視し続ける」「『だれのおかげで、生活できるんだ』とか『かいしょうなし』という」「子どもや他人の前で侮辱したり、馬鹿にしたりする」「大声でどなる」の経験が高くなっており、精神的暴力を受けた経験がある人が多くみられる。

暴力を受けたことを誰かに相談したかどうかでは、女性の5割弱、男性の7割弱が「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答しており、相談をした人でも「友人・知人」「家族や親せき」に相談したという人が大半であり、公的機関への相談は少ない。その一方で、「警察に連絡・相談した」という人が女性で4.9%（実数で7人）いた。相談をしなかった理由としては「相談するほどのことではないと思ったから」が6割台半ばに上り、被害が重大でないと考えたことを理由とする人が多いものの、「自分にも悪いところがあると思ったから」「相談しても無駄だと思ったから」「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけるといったから」など、我慢してしまっている状況も浮かぐ。被害が深刻化する以前の段階で相談につなげることができるよう相談窓口の周知をさらに進める必要があるだろう。

ここ3年ぐらいの間にセクシュアル・ハラスメント（以下、セクハラとする）を受けた経験がある女性は約1割で、年代別でみると20代から40代までで高くなっている。また、男性でセクハラを受けたことがある人も1.6%いた。セクハラを受けた場所は職場が大半だが、地域活動の場や学校に関わる場でセクハラを受けた人もみられた。職場でのセクハラについてみると、受けたセクハラの内容としては、『女のくせに』『女だから』又は『男のくせに』『男だから』などと言われた」は男女ともに高く、女性では「容姿や年齢について話題にされた」「不必要に身体をさわられた」「結婚や出産など、プライベートなことについてたびたび聞かれた」「性的な話や冗談を聞かされた」なども3割弱から4割強の人が回答している。男女雇用機会均等法では事業主に対してセクハラ防止の措置義務規定が設けられている。また、平成26年に施行された改正施行規則等では、セクハラには同性に対するものも含まれることや、セクハラ防止には性別役割分担意識に基づく言動をなくしていくことが重要である旨が明記された。市民や企業等への啓発と情報提供を推進し、セクハラについての理解とセクハラ防止のための意識を高めていく必要があるだろう。

第6章 ワーク・ライフ・バランスについて

ワーク・ライフ・バランスの状況については、理想としては男女ともに、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』を優先あるいは『仕事』と『家庭生活』を優先したいと考えている人が多い。しかし、実態としては、『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』を優先できている人は1割に満たず、『仕事』と『家庭生活』を優先、『仕事』を優先が高くなっており、仕事への比重が大きくなっている。また、性別では男性は仕事中心、女性は家庭生活中心の傾向がみられ、ここでも第3章でみた通り、固定的な性別役割分担が残っていることがうかがえる。

ワーク・ライフ・バランスを実現するための条件整備として、全体では「短時間勤務制度や時間単位の有給休暇取得などの柔軟な勤務制度の導入」「介護施設や介護サービスの充実」「育児休業や介護・看護休暇などの制度の充実」「家事、育児、介護、地域活動などに男女が共に参加しやすい職場づくり」が上位に挙がっており、両立支援の制度だけではなく職場環境の改善が求められている。特に、男性では「男性の育児休業や看護・介護休暇などの取得を促進する職場づくり」が女性に比べて高くなっており、性別に関わらず仕事と家庭生活や個人の活動との両立ができる環境を整えていくことが望まれている。既未婚別では、未婚者は育児休業に関する項目が既婚者に比べて高く、育児休業の充実や取得しやすい環境づくりが求められているといえる。育児・介護休業については制度としては整いつつあるが、制度を実際に活用できる環境づくりが今後の課題である。

第7章 「ハートピアぶぜん」について

豊前市の男女共同参画の拠点である「ハートピアぶぜん」の認知度は5割強で、男性の認知度がやや低い。利用経験についても女性は2割だが、男性は3.4%にとどまる。また、年代別で見ると年齢の低い層での認知度が低くなっている。利用した内容としては講座への参加が中心となっているが、その大半は「趣味や健康に関する講座」で、「男女共同参画に関する研修・啓発講座」は1割台半ばとなっており、現状としては残念ながら「ハートピアぶぜん」が男女共同参画の拠点としての機能を十分に果たしているとはいえない。

一方、「ハートピアぶぜん」に期待することとしては、男女共同参画に関する講座の開催や情報収集、交流の促進や相談の充実など、幅広い機能への期待が寄せられている。

今後は、「ハートピアぶぜん」の認知度をさらに高めていくとともに、子育てや趣味等に関する講座に男女共同参画の視点を取り入れたり、男性も参加しやすい講座を企画したりするなど、幅広い層の男女共同参画への関心を喚起するような事業の展開を期待したい。

第8章 今後の男女共同参画に関する施策について

男女共同参画社会の実現のために行政が力を入れるべきこととして、「育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」「保育の施設・サービスや、介護の施設・サービスを充実する」「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、多様な働き方の見直しを進める」「育児や介護等といった仕事を辞めた人の再就職を支援する」など、仕事と育児や介護との両立を可能にするような取り組みが強く求められている。また、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、多様な働き方の見直しを進める」は男女とも20代で高くなっている。上記の項目のうち、「保育の施設・

サービスや、介護の施設・サービスを充実する」以外の項目については行政としての取り組みだけでは十分ではなく、職場での取り組みを推進する必要がある。男女がともに働き続けやすく、家庭等との両立が可能な職場づくりを推進することにより、子育て世代や若年層の人材確保にもつながる可能性があると考えられることから、行政としては市内の企業等に積極的に働きかけ、理解と協力を求めている。

Ⅲ 参考資料

◎使用した調査票

集計結果 女性／男性（N=531／381）

※特に注意書きが無い場合は左側に女性、右側に男性の比率を表記している。

男女共同参画社会づくりに向けての 市民意識調査

日頃から、市民の皆様には市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本市では男女共同参画社会（男女が、お互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会）の実現を目指し、取り組みを進めております。

このたび、市民の皆様のご意見をおうかがいし、今後の施策に反映させることを目的とした「男女共同参画社会づくりに向けての市民意識調査」を実施することになりました。

実施にあたって、住民基本台帳から無作為に20歳以上の男女2,000人を抽出したところ、あなた様に回答をお願いすることになりました。

回答は無記名です。結果はすべて統計的に処理しますので、個人のお名前が明らかになることはありません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご回答くださいますようお願い申し上げます。

【記入上のお願い】

1. この調査票は、封筒の宛名の方にご意見をおうかがいするものです。必ずその方が初めから最後の質問まで通して回答をお願いします。
2. 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
選択する○印の数は質問文の後に「1 つ」「3つまで」というように指示していますので、指示にしたがってご記入ください。
3. 問で始まる質問は、全員の方におたずねする質問です。
SQ（サブクエスチョン）は、前問で一定の条件にあてはまった方だけにおたずねするものです。その方だけご回答ください。
4. 各項目で「その他」にお答えいただいた方は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
5. 回答済みの調査票は、同封の返信用封筒にて11月9日（月）までにご返送ください。

◎ なお、この調査について不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

調査主体：豊前市 総合政策課総合政策係

電話：0979-82-1111（内線 1339、1337） FAX：0979-83-2560

調査機関：特定非営利活動法人 福岡ジェンダー研究所

電話：092-401-5811

FAX：092-401-5811

男女共同参画社会づくりについて

問1 「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 言葉も内容も知っている 32.4/37.0
- 2 言葉を聞いたことがあるが、内容までは知らない 42.4/40.9
- 3 言葉も内容も知らない 22.8/18.4
- 無回答 2.4/3.7

※ 「男女共同参画社会」

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。

問2 男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 48.0/36.0
- 2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと 4.1/6.3
- 3 夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合うこと 49.0/48.6
- 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること 25.0/19.9
- 5 夫婦の間で家計を分担できるように女性も経済的に自立すること 14.1/12.9
- 6 男性が家事や育児、介護等の技能を高めること 13.7/18.1
- 7 妻が夫にのみ経済力や出世を求めないこと 12.6/15.2
- 8 男性が育児や介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること 11.1/10.5
- 9 企業が多様な働き方を認め、家事、子育て、介護、地域活動を担うことができるように環境整備をすること 62.5/63.0
- 10 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動について、その評価を高めること 27.3/27.0
- 11 その他（具体的に 1.9/2.6)
- 12 わからない 1.9/2.1
- 無回答 1.3/2.4

男女の地位・役割について

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方があります。あなた自身の気持ちとしては、この考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)

- 1 そう思う 2.4/5.0
 2 どちらかといえばそう思う 36.9/34.6
 3 どちらかといえばそう思わない 27.3/22.3
 4 そう思わない 32.8/36.5
 無回答 0.6/1.6

問4 あなたは、次にあげる①～⑧までの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あてはまるものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	男女の地位は平等だと思う	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	わからない	無回答
※上段：女性 下段：男性							
①家庭生活で	5.6 3.9	11.7 12.6	17.3 29.7	36.3 31.0	18.5 11.8	7.5 7.6	3.0 3.4
②職場で	1.9 2.6	4.7 7.9	14.5 20.7	37.1 36.2	28.6 24.1	10.7 5.2	2.4 3.1
③学校教育の場で	— 1.3	3.0 6.0	55.2 58.5	13.4 7.9	4.0 2.9	21.1 18.9	3.4 4.5
④地域活動・社会活動の場で	0.9 1.0	4.5 8.4	20.9 31.8	41.1 34.6	17.1 13.1	12.4 7.1	3.0 3.9
⑤政治の場で	0.2 0.8	1.3 3.7	7.0 17.6	31.1 33.1	46.7 34.6	10.7 6.8	3.0 3.4
⑥法律や制度の上で	1.3 3.7	7.2 7.6	24.9 41.5	23.4 17.8	19.6 12.3	19.6 13.1	4.1 3.9
⑦社会通念・慣習・しきたりなどで	0.8 1.3	2.1 3.4	7.7 12.9	34.7 37.8	42.4 35.4	9.6 6.0	2.8 3.1
⑧社会全体でみると	0.4 1.3	3.4 5.0	7.0 13.9	47.6 50.4	27.9 19.9	11.9 7.3	1.9 2.1

問5 女性が職業を持つことについて、どのような形が望ましいと思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

- 1 ずっと職業を持っている方がよい 40.3/35.4
 - 2 結婚するまで職業を持ち、後は持たない方がよい 0.9/1.3
 - 3 子どもができるまで職業を持ち、後は持たない方がよい 1.3/2.4
 - 4 子どもができたなら職業を中断し、子どもが大きくなったら再び持つ方がよい 48.2/53.5
 - 5 女性は職業を持たない方がよい 0.4/0.8
 - 6 その他（具体的に 3.2/3.1)
 - 7 わからない 4.1/2.4
- 無回答 1.5/1.0

家庭生活について

問6 あなたの家庭では、次にあげる①～⑨のような事柄を、主に誰が担当していますか。現在配偶者・パートナーがいらっしゃる方は現在の状況について、現在独身の方は配偶者・パートナーがいらしたらどうしたいと思うか、あてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	主として妻	どちらかといえば妻	両方同じ程度	どちらかといえば夫	主として夫	その他の人・非該当	無回答
※上段：女性 下段：男性							
①生活費を稼ぐ	2.6 1.3	1.5 0.8	19.0 22.3	31.1 32.8	40.7 38.1	1.3 3.1	3.8 1.6
②炊事・掃除・洗濯などの家事	51.4 39.6	31.6 35.7	12.8 18.6	0.2 1.0	0.2 1.3	0.6 2.4	3.2 1.3
③育児・子どものしつけ	21.3 11.8	26.7 32.3	41.1 41.7	0.8 1.3	0.4 0.8	5.1 7.3	4.7 4.7
④子どもの教育方針・進路目標の決定	7.5 4.2	16.4 10.5	59.3 63.3	5.1 7.6	1.1 1.8	5.1 7.3	5.5 5.2
⑤家計支出の管理	42.0 35.4	29.2 29.9	16.8 19.2	5.8 5.2	2.6 6.3	0.6 2.4	3.0 1.6
⑥土地・家屋・その他高額商品の購入	3.4 2.4	5.3 4.7	40.7 49.6	24.1 19.4	19.8 15.5	1.9 5.8	4.9 2.6
⑦貯蓄・投資などの生活設計	18.3 12.6	23.2 19.7	38.4 40.4	8.7 9.7	5.5 10.2	1.7 3.7	4.3 3.7
⑧親の介護	16.8 6.8	25.8 23.6	36.7 46.2	1.9 2.6	1.5 2.1	11.7 13.9	5.6 4.7
⑨町内会・自治会等への会合への参加	10.9 4.2	12.2 11.0	32.2 29.1	21.7 22.0	14.5 26.2	4.1 5.2	4.3 2.1

問7 あなたは、結婚についてどのような考え方をお持ちですか。次の①～⑥までのそれぞれの質問について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	そう 思う	そう 思う どちら かとい えば	そう 思わ ない とい えば	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答
※上段：女性 下段：男性						
①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	39.4 33.6	23.4 22.0	12.2 12.3	18.1 29.1	3.6 1.8	3.4 1.0
②結婚という形式にとらわれず「パートナーと暮らす」という生き方があってもよい	31.5 23.6	26.4 27.6	13.2 12.6	19.2 28.1	6.6 6.6	3.2 1.6
③夫婦は別々の姓を名乗ることを選択できる方がよい	16.2 13.6	15.6 11.0	19.6 15.7	33.3 45.9	12.4 12.3	2.8 1.3
④結婚しても、子どもを持っても持たなくてもどちらでもよい	29.0 20.2	20.9 15.2	13.0 17.3	29.0 39.9	5.1 5.8	3.0 1.6
⑤結婚しないで「子どもを産み育てる」という生き方があってもよい	18.6 16.3	15.4 16.8	21.7 16.5	32.0 41.5	9.4 7.1	2.8 1.8
⑥結婚しても夫婦間の愛情や信頼がなくなれば、離婚するのもやむを得ない	38.4 30.4	35.0 33.6	8.7 8.9	7.5 16.3	8.1 9.2	2.3 1.6

問8 あなたは、現在の子どものしつけや教育について、どのような考え方をお持ちですか。次の①～③までのそれぞれの質問について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	そう 思う	そう 思う どちら かとい えば	そう 思わ ない とい えば	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 回 答
※上段：女性 下段：男性						
①女の子も男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要だ	67.2 62.5	24.1 28.6	3.6 2.9	1.1 2.6	1.7 2.6	2.3 0.8
②男の子にも炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせる方がよい	62.0 48.6	29.6 41.7	2.8 4.7	1.5 1.6	2.1 2.4	2.1 1.0
③女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい	19.2 30.2	35.0 32.8	19.4 14.2	17.9 16.5	5.8 5.2	2.6 1.0

地域活動について

問9 あなたは、現在どのような地域活動に参加されていますか。（〇はいくつでも）

- 1 自治会（行政区・組）・町内会等の活動 41.1/52.8
 - 2 P T A活動 11.7/3.1
 - 3 子ども会などの青少年育成活動 7.5/6.0
 - 4 青年団体の活動 0.6/6.0
 - 5 女性団体の活動 6.4/-
 - 6 老人団体の活動 9.0/11.5
 - 7 消費者団体・生活協同組合等の消費者活動 1.1/0.8
 - 8 N P Oやボランティアなどの市民活動 5.6/6.6
 - 9 その他の社会活動（具体的に 2.1/8.1)
 - 10 参加していない 44.3/34.6
- 無回答 1.3/1.6

問10 地域活動での役割分担についておたずねします。次の①～⑦の項目について、

（A）あなたのお住まいの地域の現状はどうだと思いますか。（〇はそれぞれ1つ）

（B）今後はどうしたいですか。（〇はそれぞれ1つ）

	（A）現状					（B）今後			
	そう なっ てい る	が そ う な っ て い る 場 合	そ う な っ て い な い	わ か ら な い	無 回 答	現 状 の ま ま で い い	改 善 す べ き	わ か ら な い	無 回 答
※上段：女性 下段：男性									
①催し物の企画などは主に男性が決定している	25.4 31.2	25.6 34.1	8.7 7.1	36.0 24.9	4.3 2.6	35.6 29.4	18.1 32.0	33.0 29.9	13.4 8.7
②地域活動は男性が取り仕切る	27.5 35.4	32.0 36.7	9.4 8.7	25.6 17.1	5.5 2.1	37.3 27.0	20.0 40.9	28.4 22.8	14.3 9.2
③地域の役員はほとんど男性になっている	34.1 40.4	26.7 28.6	13.2 12.3	20.9 16.0	5.1 2.6	39.0 26.0	18.8 43.6	27.9 20.7	14.3 9.7
④地域での集会の時には、女性がお茶くみや後片づけをしている	45.8 40.2	21.8 32.0	7.7 10.2	19.8 15.5	4.9 2.1	35.0 31.5	27.5 38.3	22.8 21.5	14.7 8.7
⑤地域の集会では男性が上座に座る	38.0 38.3	20.7 28.6	9.2 10.2	26.9 20.7	5.1 2.1	38.8 29.7	16.4 32.8	30.3 28.3	14.5 9.2
⑥女性が発言しにくい雰囲気がある	11.7 8.1	21.1 23.1	30.5 40.9	31.8 26.0	4.9 1.8	27.7 33.3	29.2 30.2	29.4 26.2	13.7 10.2
⑦隣組長・自治会役員などの登録は男性（夫）になっているが会議の出席は女性（妻）が出ることが多い	16.9 12.3	24.5 31.8	24.3 31.5	30.3 22.0	4.0 2.4	31.8 33.6	21.7 27.6	33.1 28.9	13.4 10.0

問11 自治会長や区長、公民館長、PTA会長などの地域の役職について、おたずねします。回答者が女性の場合、もし、あなたが推薦されたら引き受けますか。回答者が男性の場合、妻などの身近な女性が推薦されたとしたら引き受けることをすすめますか。(○は1つ)

1 引き受ける(引き受けることをすすめる) 15.1/39.4

2 断る(断ることをすすめる) 82.1/58.5

無回答 2.8/2.1



N = 436/223

SQ1 (問11で「2 断る(断ることをすすめる)」と回答した方に)

その理由は何ですか。最も近いものを選んでください。(○は3つまで)

1 家族の協力が得られないから 17.0/20.6

2 女性が役職につくことを快く思わない社会通念があるから 17.4/22.0

3 家事・育児や介護に支障が出るから 41.7/42.6

4 役職につく知識や経験がないから 62.8/42.2

5 女性には向いていないから 8.3/7.2

6 世間体が悪いから 3.0/2.7

7 その他(具体的に 14.0/17.9)

無回答 1.4/-

暴力・セクハラについて

問12 (A) あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーや恋人間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。

(B) また、あなたはここ3年ぐらいの間にあなたの配偶者・パートナーや恋人関係にある(あった)人から次のようなことをされたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

	(A) 認識				(B) 経験			
	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答	全くない	1、2度あった	何度もあった	無回答
※上段：女性 下段：男性								
①骨折させる	81.2 79.8	11.1 13.4	0.6 0.3	7.2 6.6	91.7 92.1	0.6 -	0.4 -	7.3 7.9
②打ち身や切り傷などのけがをさせる	75.0 74.0	16.2 18.1	1.3 0.8	7.5 7.1	89.5 89.5	2.6 1.8	0.4 0.3	7.5 8.4
③足でけったり、平手で打ったりする	82.7 76.9	8.9 15.2	0.9 0.5	7.5 7.3	84.2 86.1	6.0 4.7	2.1 0.8	7.7 8.4
④物を投げつける	72.7 74.5	18.3 17.1	1.3 1.3	7.7 7.1	83.4 85.0	7.2 6.0	1.7 1.0	7.7 7.9
⑤げんこつや身体を傷つける可能性のある物で、殴るふりをしておどす	67.2 64.3	22.0 26.8	2.8 2.1	7.9 6.8	85.3 85.6	6.0 5.2	0.9 1.0	7.7 8.1
⑥嫌がっているのに性的な行為を強要する	71.4 68.0	18.5 22.8	2.8 2.4	7.3 6.8	84.7 87.1	4.3 3.9	2.4 0.8	8.5 8.1
⑦避妊に協力しない	53.5 46.5	29.9 34.6	8.1 10.8	8.5 8.1	85.3 87.9	4.0 2.1	1.9 0.5	8.9 9.4
⑧見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	57.4 53.5	24.3 30.4	9.2 9.4	9.0 6.6	91.0 89.8	0.9 2.4	0.2 -	7.9 7.9
⑨何を言っても無視し続ける	49.0 42.5	32.0 39.4	10.7 11.3	8.3 6.8	79.8 79.8	8.1 9.2	3.8 3.4	8.3 7.6
⑩必要な生活費を渡さない	63.8 58.0	19.6 26.2	7.9 8.4	8.7 7.3	87.0 89.8	2.3 1.6	2.8 0.8	7.9 7.9
⑪交友関係や電話・メール等を細かく監視する	55.7 46.5	28.8 36.5	7.0 9.4	8.5 7.6	87.6 87.9	3.6 3.7	0.8 0.3	8.1 8.1
⑫「だれのおかげで、生活できるんだ」とか「かいしょうなし」という	65.7 59.3	21.7 27.3	4.3 5.8	8.3 7.6	82.9 87.4	6.6 4.5	2.4 0.3	8.1 7.9
⑬子どもや他人の前で侮辱したり、馬鹿にしたりする	64.8 57.2	22.0 30.4	4.9 4.2	8.3 8.1	80.8 83.2	6.4 7.6	4.0 1.0	8.9 8.1
⑭大声でどなる	58.2 45.9	29.2 42.0	5.3 5.5	7.3 6.6	73.3 74.0	10.9 15.2	7.3 2.6	8.5 8.1

1つでも○をつけた方はSQ1へ

N=144/93

S Q 1 (問 12 (B) 経験で「何度もあった」「1、2度あった」に1つでも○をつけた方に)

あなたは、あなたの配偶者・パートナーや恋人関係にある(あった)人から受けたそのような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも)

- 1 警察に連絡・相談した 4.9/-
- 2 配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所、福祉事務所など)に相談した 2.1/-
- 3 人権擁護委員、民生委員、自治委員などに相談した 2.1/-
- 4 ハートピアぶぜんの相談事業を活用した -/-
- 5 1～4以外の公的な機関(役所の相談窓口など)に相談した 2.1/-
- 6 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)に相談した 2.1/1.1
- 7 医療関係者(医師・看護師など)に相談した 2.8/2.2
- 8 家族や親せきに相談した 29.9/8.6
- 9 友人・知人に相談した 36.8/12.9
- 10 その他(具体的に 0.7/2.2)
- ↓ 11 どこ(だれ)にも相談しなかった 48.6/69.9
- 無回答 3.5/9.7

N=70/65

S Q 2 (問 12 S Q 1 で「11 どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方に)

相談しなかったのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1 どこ(だれ)に相談したらよいかわからなかったから 2.9/4.6
- 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから 5.7/13.8
- 3 相談してもむだだと思ったから 15.7/16.9
- 4 相談したことがわかったと仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから 2.9/1.5
- 5 担当者の言動により不快な思いをすと思ったから 2.9/-
- 6 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっているとと思ったから 12.9/10.8
- 7 世間体が悪いから 1.4/7.7
- 8 他人を巻き込みたくなかったから 8.6/15.4
- 9 そのことについて思い出したくなかったから 4.3/4.6
- 10 自分にも悪いところがあると思ったから 30.0/46.2
- 11 相談するほどのことではないと思ったから 71.4/60.0
- 12 その他(具体的に 8.6/1.5)
- 無回答 -/1.5

問13 あなたは、ここ3年ぐらいの間にセクシュアル・ハラスメント（他の者を不快にさせる性的な言動等）を受けたことがありますか。

- 1 受けたことがある 9.0/1.6
 2 受けたことがない 87.0/91.1
 無回答 4.0/7.3

N=48/6

SQ1（問13で「1 受けたことがある」と答えた方に）（A）職場、（B）学校に関わる場、（C）地域活動の場で次のようなセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。（〇はそれぞれいくつでも）

	(A) 職場で	(B) 学校に関わる場で	(C) 地域活動の場で
※上段：女性 下段：男性			
①「女のくせに」「女だから」又は「男のくせに」「男だから」などと言われた	35.4 50.0	－ －	10.4 16.7
②女性の水着姿の写真やポスターを見せられた	6.3 －	－ －	2.1 －
③宴会などでお酌やデュエットを強要させられた	18.8 16.7	2.1 －	6.3 －
④異性との交際について聞かれた	22.9 －	－ －	10.4 －
⑤結婚や出産など、プライベートなことについてたびたび聞かれた	27.1 16.7	2.1 －	14.6 －
⑥容姿や年齢について話題にされた	43.8 16.7	2.1 －	10.4 －
⑦性的な話や冗談を聞かされた	27.1 －	－ －	12.5 －
⑧性的なうわさをたてられた	6.3 －	－ －	2.1 －
⑨不必要に身体をさわられた	39.6 －	4.2 －	4.2 －
⑩性的な内容の手紙やメール、電話を受けた	6.3 －	－ －	2.1 －
⑪交際を強要された	4.2 －	－ －	4.2 －
⑫性的な関係を強要された	4.2 －	－ －	2.1 －
無回答	16.7 33.3	95.8 100.0	81.3 83.3

ワーク・ライフ・バランスについて

問14 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）という言葉を知っていますか。（○は1つ）

- 1 言葉も内容も知っている 15.8/21.3
- 2 言葉を聞いたことはあるが、内容までは知らない 30.3/29.4
- 3 言葉も内容も知らない 51.6/46.7
- 無回答 2.3/2.6

※ ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」のこと。「仕事と生活の調和」が実現した社会では、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」とされています。

問15 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の優先度について、あなたは次のどれにあてはまりますか。（A）理想と（B）現実のそれぞれについて、最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	優先 「地域・個人の生活」を	「仕事」と「家庭生活」を優先	「仕事」と「地域・個人の生活」を優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先	無回答
※上段：女性 下段：男性								
（A）理想	2.4 4.7	18.5 11.3	2.1 0.8	18.3 23.1	4.9 3.7	11.7 11.5	38.6 39.6	3.6 5.2
（B）現実	23.5 30.7	22.2 12.3	2.3 3.7	31.6 26.5	2.4 8.4	5.6 6.8	6.8 7.9	5.5 3.7

問16 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）」の調和のとれた生活をするためには、どのような条件整備が必要だと思いますか。（○は5つまで）

- 1 短時間勤務制度や時間単位の有給休暇取得などの柔軟な勤務制度の導入 52.7/56.4
 - 2 育児休業や介護・看護休暇などの制度の充実 39.5/35.2
 - 3 育児休業や介護休業中の各種手当制度の充実 37.1/32.5
 - 4 子育て・家庭生活のためにいったん退職をした人を優先的に雇用する制度 30.1/28.9
 - 5 男性の育児休業や看護・介護休暇などの取得を促進する職場づくり 25.0/34.6
 - 6 家事、育児、介護、地域活動などに男女が共に参加しやすい職場づくり 38.0/37.3
 - 7 世間一般において男性の仕事中心の生き方、考え方を改める 17.1/21.0
 - 8 男性が、家事、育児、介護などに積極的に取り組む環境づくり 31.1/26.2
 - 9 保育所や放課後児童クラブの充実 29.8/24.1
 - 10 介護施設や介護サービスの充実 38.2/38.8
 - 11 男女の固定的役割分担意識の解消 15.4/13.1
 - 12 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進の意義や必要性の普及 16.9/24.4
 - 13 先進的に取り組んでいる企業の表彰や事例の紹介 8.1/8.7
 - 14 その他（具体的に 1.9/2.6 ）
- 無回答 5.3/3.1

「ハートピアぶぜん」について

問17 あなたは豊前市の男女共同参画推進の拠点である「ハートピアぶぜん」をご存じですか。（○は1つ）

- 1 知っているし、利用したことがある 20.0/3.4 → SQ1へ
 - 2 知っているが、利用したことはない 39.4/42.0
 - 3 知らない 39.0/53.0
- 無回答 1.7/1.6

※ 「ハートピアぶぜん」

平成23年に豊前市男女共同参画推進条例の精神にのっとり、「男女がともに輝くまちぶぜん」を実現するための拠点として位置づけられた施設です。（旧名称：働く婦人の家）

N=106/13

SQ 1 (問17で「1 知っているし、利用したことがある」と答えた方に)

「ハートピアぶぜん」をどういったことで利用しましたか。(〇はいくつでも)

- 1 男女共同参画に関する研修・啓発講座 16.0/-
- 2 趣味や健康に関する講座 89.6/76.9
- 3 女性相談員によるこころの相談 0.9/-
- 4 男女共同参画に関する図書の閲覧 0.9/-
- 5 市に関する情報収集 2.8/23.1
- 6 その他(具体的に 4.7/-)
- 無回答 0.9/-

問18 あなたが今後「ハートピアぶぜん」に期待することはどんなことですか。(〇は3つまで)

- 1 男女共同参画推進のための講座・講演会などを充実する 18.8/23.9
- 2 男女共同参画に関するイベントや講座を開催する 27.9/27.0
- 3 男女共同参画に関するあらゆる情報を収集、提供する機能を充実する 28.6/24.7
- 4 男女共同参画推進のための調査研究機能を充実する 3.6/9.4
- 5 市民グループの育成支援、女性のネットワーク拠点としての機能を充実する 20.0/17.3
- 6 女性リーダー育成のための機能を充実する 5.6/10.2
- 7 個人や市民グループの活動の場の提供と交流を促進する 26.6/26.0
- 8 男女共同参画推進の専門図書室としての機能を充実する 1.1/2.6
- 9 男性や女性の自立にむけての相談事業を充実する 18.8/22.8
- 10 その他(具体的に 1.5/1.3)
- 11 特にない 19.6/17.8
- 無回答 11.1/13.1

今後の男女共同参画に関する施策について

問19 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は5つまで)

- 1 学校教育や職場、地域などの各分野において、男女共同参画社会について学習機会を充実する 23.0/31.5
- 2 女性が能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する 20.3/14.7
- 3 従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する 10.0/16.8
- 4 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など、多様な働き方の見直しを進める 43.5/43.8
- 5 育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する 48.8/46.7
- 6 育児や介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する 45.6/37.8
- 7 男性が家事、育児、介護、地域活動に参加していくよう啓発や情報提供を行う 19.8/13.9
- 8 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、女性だけでなく男性も相談しやすい窓口を設ける 19.4/18.4
- 9 保育の施設・サービスや、介護の施設・サービスを充実する 46.0/42.3
- 10 国・地方公共団体（豊前市など）の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する 12.4/14.7
- 11 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する 4.9/11.5
- 12 「ハートピアぶぜん」において、男女共同参画についての情報提供、相談、調査研究、自主活動支援などの機能を充実する 7.7/11.8
- 13 配偶者等に対する暴力根絶のための啓発活動を充実する 4.9/3.7
- 14 セクシャル・ハラスメントやパワー・ハラスメント防止の取り組みを強化する 11.9/11.0
- 15 女性リーダーの養成・研修の場を充実する 6.8/8.9
- 16 男女共同参画を推進する市民グループとの連携を深める 4.3/5.2
- 17 国・県・市町村の男女共同参画に関する担当窓口が連携を強化する 4.7/7.9
- 18 男女共同参画への理解や協力について広報・PRする 12.1/13.9
- 19 その他（具体的に 1.3/3.1)
- 20 わからない 5.6/5.5
- 無回答 6.0/5.0

あなたご自身のことについて

F 1 あなたの性別は

1 女性 58.2 2 男性 41.8 無回答 -

F 2 あなたの年齢は

1 20代 10.5/6.3 4 50代 19.0/20.5
2 30代 16.6/12.1 5 60代 20.9/26.8
3 40代 17.1/14.2 6 70代以上 13.4/18.4
無回答 2.4/1.8

F 3 あなたがお住まいの小学校地区は

1 角田小学校区 7.7/8.4 6 千束小学校区 13.4/12.1
2 山田小学校区 7.3/8.9 7 黒土小学校区 10.4/9.7
3 大村小学校区 1.9/3.1 8 三毛門小学校区 14.5/14.4
4 八屋小学校区 13.7/15.5 9 横武小学校区 6.8/6.8
5 宇島小学校区 14.7/9.2 10 合岩小学校区 5.5/8.7
無回答 4.1/3.1

F 4 あなたの職業は

1 自営業主（農林漁業） 0.9/8.9 6 契約社員・派遣社員 3.2/5.0
2 自営業主（商工サービス業） 2.3/7.3 7 パート・アルバイト・臨時雇用 25.0/10.0
3 家族従業者（農林漁業） 1.3/0.3 8 家事専業（外で働いておらず、専ら
4 家族従業者（商工サービス業） 1.5/0.8 家事に従事している方） 30.7/5.2
5 正社員・正規職員 27.9/40.2 9 その他（具体的に 1.1/4.2 ）
10 無職 3.6/15.7 無回答 2.4/2.4

次ページにつづく

F 5 あなたの配偶関係は（事実婚を含みます）

- | | | |
|---|----------------------|-----------|
| 1 | 配偶者・パートナーがいる（共働きである） | 39.0/36.7 |
| 2 | 配偶者・パートナーがいる（共働きでない） | 29.2/35.2 |
| 3 | 配偶者はいない（未婚／非婚） | 13.9/15.5 |
| 4 | 配偶者と離別した | 7.2/6.0 |
| 5 | 配偶者と死別した | 7.3/2.4 |
| | 無回答 | 3.4/4.2 |

N=207/140

S Q （F 5で「1 配偶者・パートナーがいる（共働きである）」と答えた方に）

現在の配偶者（パートナー）は、次のどれに該当しますか。（産休・育児休業・その他休業中の方は、休業中の職業）

- | | | | | | |
|---|----------------|-----------|---|-----------------------------|----------|
| 1 | 自営業主（農林漁業） | 1.9/2.9 | 6 | 契約社員・派遣社員 | 5.3/3.6 |
| 2 | 自営業主（商工サービス業） | 13.0/2.9 | 7 | パート・アルバイト・臨時雇用 | 5.8/42.9 |
| 3 | 家族従業者（農林漁業） | 1.9/2.9 | 8 | 家事専業（外で働いておらず、専ら家事に従事している方） | -/- |
| 4 | 家族従業者（商工サービス業） | 2.4/6.4 | 9 | その他（具体的に | 0.5/0.7 |
| 5 | 正社員・正規職員 | 68.6/37.1 | | 無回答 | 0.5/0.7 |

F 6 あなたの家族の同居状況は

- | | | | | | |
|---|------------|-----------|---|--------------|----------|
| 1 | 単身世帯 | 9.2/7.1 | 4 | 親、子、孫の3世代の世帯 | 12.1/9.2 |
| 2 | 夫婦のみの世帯 | 25.4/36.0 | 5 | その他 | 1.9/0.5 |
| 3 | 親と子の2世代の世帯 | 47.6/43.3 | | （具体的に | |
| | | | | 無回答 | 3.8/3.9 |

F 7 あなた自身も含め、同居のご家族に次にあげる方はおられますか（〇はいくつでも）

- | | | | | | |
|---|-----------|-----------|---|---------|-----------|
| 1 | 乳幼児（3歳未満） | 7.2/5.8 | 5 | 専門学校生 | 2.1/2.1 |
| 2 | 未就学児 | 7.5/7.3 | 6 | 大学・短大生 | 3.6/3.7 |
| 3 | 小・中学生 | 18.3/10.5 | 7 | 1～6以外の人 | 99.8/99.5 |
| 4 | 高校生 | 9.8/6.6 | | 無回答 | -/- |

◎これですべての質問が終わりました。ご多忙の折、多数の質問にお答えいただきありがとうございました。もう一度記入もれがないかご確認の上、同封の返信用封筒で 11月9日（月） までにご返送いただきますようお願いいたします。

「男女共同参画社会づくりに向けての市民意識調査」
結果報告書

平成２８年３月

発行／豊前市役所

〒８２８－８５０１

福岡県豊前市大字吉木９５５

TEL ０９７９－８２－１１１１

FAX ０９７９－８３－２５６０